

GL-14.60 孔内水位____ ボーリング孔:No. 試料採取 現 場 採 it. 九 層 深 10cm ニとの 钽 i. الله الله 打黎问数 取 質記号 Z U 尺 原 [12] 3 出入婦 10 20 30 0 10 20 cm cm cm m m 名: 湖 自沈 7.48 300加拉飞山砂色、315 349 4.46 5.00m时近にて、竹の根 5.15 を含む。 5.47 6.15 6.49 7.15 7.48 8 12 15 8.50 12 10 945 10 10.48 茶 1/00mにて 暗灰茶色を 11 抜み スコリア 有キ土と含 11.46 む。 12 15 10 12.46 粘性弱い。 13 スコリア、有や土を迎える。 10 10 13.46 腐植物を含む。 14 _____ 10 10 暗 茶 15.00m 附近粘性弱 1460 m 15 10 14 16.00mにて、黄条色にて 15.46 如松性强心。 16.15 土黄 56 60 16.40 16.40 14 粘性弱く、含水少ない。76.46 +7.15 17 灰 腐植物 混入。 表 土(黒ボワ) 55.50 17.50 8 18.00mにて、暗青緑の 17.45 細砂を挟む。 18.15 18-14 暗青灰浮石を含む。 18.45 54.20 18.80 1.30 均質細石かにて、雲田 19.15 19 10 10 き含む。 19.45 20.00mにてシルを建 20 -2.2~3cm位歩む。 10 10 20.43 21.00mにて、ショレトを挟 长田 びり 7/0 6 51.70 21.30 2.50 全体に シルトを 遅える。 2/45 少量の雲母舎む、 22 6 10 2245 粒子不同。 到00mにてられを挟み15 8 シルト混り細切黄 49.50 23.50 2.20 10 z3.45 均質細砂。 19 31 反茶 含水少ない。 48.60 24.40 0.90 74.34 25 -浮石 砂定 混之る。 固結シルト 均質細砂。 26-砂青緑灰 製金本。 細 46.10 26.90 19 *5*0 含水少ない。 14 10 4 27.29 全体に、浮石を混え 78.15 78.78 対マ5~10cmはあかを 50 29 28 挾む。 10 もろく解体する。 27 50 43.72 29.28 2.38 固結シルト <u> 23</u> 73 10 30 テニソン型サンプラー 試料採取方法の記号 考: 備

調查名·調查地点《版計》全井中学校地質調查委託

U フォイルサンプラー 9

 \odot

その他

● シンウォールサンプラー

○ 貫入試験用サンブラー

29.15

29.27

12

砂を挟む。

校立。粉性弱い。

含氷少なく、均質細砂。

3/00mにて団結状のシレト-30.23

固結シルト

多田

29

41.78 31.27 1.47

37

10

50 8

<u>38</u>

用

調查年月日 58年 2月27日 - 58年 3月 1日 調查名·調查地点。仮称冷井中学校地質調查专託 72.923 GL-14.60 ボーリング孔:No. 孔内水位 135 試料採取 JH. 3/5 T.K 10cm = + 0 1: É 深 dC N强犯号 取方法 打擊回数 質 × nia Jian J. 明人妹 10 20 30 cm cm cm 0 m 10 20 40 50 60 mm 县。 m 全般的にスコリア有物 办温入。 1287 15 5 30~3.8m間は火山及貨 標砂(風化)を混りやや固結化を呈する。 10 10 10 30 48m时近まで 務植物を 4.15 温入し以深はやや教質 778 446 化している。 5.15 20 有も物 スコリアを 混入。 13 33 6 やや粘性を増す。 18 10 8 光台土質口-0 雲田片混入。垃圾質の砂層 シルト質細砂黄 10 10 7.45 30 8 10 9 18 9.45 30 10 10 10 -10 10 11 全般に、火山性(風化)の 10 10 細砂状で、苦トシルトがあ 12 おびている。 30 13 30 10 13.45 10 14 10 10 V 14.45 30 14.60m · 15 45 30 10 10 10 16 30 10 10 16.45 1705~1715m 間に粉 土分を挟在している。 77.15 8 1745 10 30 10 18 全般に均しな細粒砂。 8 10 要证片混入。 18.45 To j 糸田 53.82 19.10 11.75 10 褐色の酸化性の砂層を 1945 10 10 30 10 所々薄層に挟む。 20.15 20 均一粒子。 シルト温り糸田石り 52.32 20.60 1.50 10 10 10 20.45 大山灰性の砂管で: シルト 21/5 6 10 分おひる。 21.45 21.70 局部的にシル(や地類仄) 22 質)を不規則に挟み又. 10 30 10 2245 シルト混り糸田石ケ 5~10cm位 挟む 50.03 22.89 \$10~20m/大のしキ若混る. 4957 23.35 0.46 0 礫温り細砂 10 z3 45 10 30 最上部に、黒茶褐の固結 にた酸化物をレンズ状に 24.15 24 灰 拔在。 7435 20 10 10 25 -超石を混り青灰の固結シュレトには、関植物も混る。 26-26 10 5 27. 前々.5~10cm位のコア 27.29 10 4 となる。 28 <u>30</u> <u> 28</u> 10 29.30 0.80 15 30 1/2 : 儱 試料採取方法の記号 フォイルサンプラー

● シンウォールサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

その他

73.466 m 調查年月日 58年 2月25日~58年 2月26日 調查名·調查地点(仮林)全井中学校地質調查委託 GL-1 4.50 ボーリング孔:No. 孔内水位 察 標 117 流 試料採取 貐 採取 1-(h âL 10cm ごとの N 値 一質記号 打擊问数 質 16 (1) A ht. 10 20 cm cm 0 20 60 法 m 10 m m Π ローム質土の盛土. 火山礫など 含有する 褐 ローム 塊を 混る。 72.27 1.20 1.20 10 <u>3</u> 10 有機物・スコリアを混る。 1.45 1.70m以深やや粘土 質を呈する。 10 10 12 70.67 2.80 1.60 要证片有针物混合。粘性中、微观度 3.15 砂質粉土 黄 70.17 3.30 0.50 3 3 4 30 シルト質細砂黄 風化性の砂。要母片を混る。 69.57 3.90 0.60 5 4 6 10 10 $\frac{3}{10} \quad \frac{5}{10} \quad \frac{5}{10}$ 30 10 10 10 8.45 10 全般に、やや風化質状 き呈し、シルト性をおひで、 9.45 9 10 き呈し、シルト性をおびてい 10 10 10 10.45 11 6 8 粒子均一。 12 要母片湿入。 13 -6 10 *28* 30 14.45 _____ 10 1450 m 15 *28* 10 10 15.45 16 10 10 30 16.45 17 -10 30 10 10 10 18-7/0 10 18.45 30 19 10 30 10 19.45 20.15 10 10 細 52.67 20.80 16.90 20.45 21.15 硬質シルト黄 反 全体 比 火山灰性. 52.12 21.35 0.55 10 10 福 反 酸化物をレス状に状在 30 固結細切 51.77 21.70 0.35 21.45 22.15 22.40 25 10 10 固結シルト 50.77 22.70 1.00 -23.15 20 24 50.12 23.35 0.65 23.70~23.85m間に黄 灰の固結シルト挟止。 23 10 10 23.38 24 褐色的酸化物 混る. 24.10~24.15m11. 首任自然 24.31 16 25 - 48.32 25.15 1.80 所1.5~10cm位a棒状了-25.37 些3。 擊石· 商植物. 雲母片を 26.15 46.97 26.50 1.35 白色の軽石を、斑点状 <u>24</u> <u>26</u> 10 5 27 沙儿乳細砂青 汇混る。 15 28-29 30 デニソン型サンプラー 考: 試料採取方法の記号 シンウォールサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

99

ט

72.820 調査年月日 58年 2月 19日~ 58年 2月 2/日 調查名·調查地点(版林)金井中学校地質調查查託 m 孔内水位 ボーリング孔:No GL-12.50 m 規 揚 $\mathcal{D}_{\frac{1}{2}}$ 余表 標 纯 試料採取 損 試 標 10cm ごとの 6 1 深 土質 116 N値 回数 取 打擊回数 智 Š 尺 P. हिंद 記号 方法 10 20 30 o 智夫量 \mathbf{m} 10 20 30 40 50 60 m m褐「事車搬入路の敷砂利」 77.42 0.40 0.40 0.90~1.15m間は、スコリア 火山しキ 軽石 等温り半町 1 結化している。 115~135m 間は 黄褐 1.45 灰色の軽石骨を挟む(0.20m) 215 14 4 12 2.15 270m时近より スコリア等 25/ の含物か 少なくなり 3.15 10 10 16 3 3.15 やや粘性増す。 13 35 22 3.50 69.02 3.80 3.40 全般にやや粘性をおびて、タノラ おり 均-粒子. 445 黄褐色の酸化物を所々 5.15 5 レス状の不規則に <u>545</u> 10 30 挾在。 暗褐色の路植物をレン 6.15 6 文状c挟在。要好沒多。 6.45 10 30 沙川質細砂黄 66.02 6.80 3.00 7.15 10 10 10 30 745 8 均一細粒砂で、雲母片を 10 845 30 浬3。 9 9.15 28 10 10 30 945 10 10.15 30 1045 10 11 所々極少(l=5~6cm) 11.15 70 のコアとなる。(棒状) 11.45 30 12 12.15 10 30 10 10 10 12.45 60.02 12.80 6.00 祭田 的黄 13.15 13 12.50m 三儿質細切 黄褐灰 砂酸物的铁色型温入。 5952 13.30 0.50 30 10 10 10 灰 粉炒一。要好湿入。 13.45 59.07 13.75 0.45 門 棒状 1 P- (8:5~10, m) 14.15 6 となる。褐色の酸化物を 10 14.45 30 シルト質細切黄褐灰いズ状に挟む。 57.97 14.85 1.10 75.15 10 10 30 10 15.45 16 16.15 均一粒子。 30 16.45 17 77.15 雲母 混る。 10 17.45 30 10 18.15 邻田 ロケー 7/0 54.47 18.35 3.50 10 暗褐色の萬植物 黄褐色の 30 18.45 すりを レンズ状に挟在。 シルト分と不規則に挟在。 全体に発えるシさよび、5~ 19.15 三儿小混》《细》了福 53.52 19.30 0.95 10 10 19.45 固結シルト 52.92 19.90 0.60 Bimはの棒状コアーとなる。 酸化物 輕石 整时 有印物 20.15 9 12 0-き少量混る. 28 20.43 暗褐色の酸化物をレンス状 21.15 21 21 20 に挟在。 25 10 10 21.40 22 22.15 <u>32</u> 50 10 シルト混り細切黄 20 10 77.35 50.09 22.73 2.83 細砂を達(2~3~の位)挟 23.15 23 50 む。雲母片混入。 23.25 10 10 砂分に 輕石(細中粒状法 24 若干混る。 50 30 20 10 10 ずな 虧植物を混る。. 24.35 26 27-28 29 30 -考: 試料採取方法の記号

U

フォイルサンブラー

× そ の 他

シンウォールサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

質 告 報 用 紙 土 柱 狀 义 調查名·調查地点(仮称)金井中学校地質調查委託 調查年月日 58年 2月 27日 - 58年 3月 2日 72.977 6 GL-12.70孔内水位 ボーリング孔:No. إباز 観 猴 维 試 驗 試料採取 ÄĽ 绿 贯 標 深 層 標 10cm ごとの 採 4. Ü 試 深 ďĽ. N(14) 取 撃回数 質記号 さ 恆 方法 尺 20 cm 門入園 10 0 10 40 50 20 m \mathbf{m} m 1/1 m 45 m 1.00 1 -自沈 暗茶褐の10-4で 200州 1.35 55 附近は 粘土質ロームを 2 混入。粘土中量含む。 2.70 70 3.00~360M 間 固結状 の砂を混入。 35 8 10 10 30 10 杨植物湿) 粘土分多(30 10 10 10 3.60m位より、粘土質ローム 6 となり、中砂少量混入。 8 6 16 30 粘性中位。含水少ない。 12 32 10 10 8 スコリアを要せり状に混入 <u>2</u> /3 暗茶褐 8 12 土 ૩૩ 64.18 8.80 8.80 凭植物 有+物混入。 植物微铁 8含む、粘性弱。 946 11 10 10 表土(黒ボ2) 63.08 9.90 1. 凝及質の中砂 細砂を 10.15 10 不規則に温入。(少量) 31 3/ 疑反質粘土も少量含む。 11 11.45 粘性中位. 30 10 10 10.80~13.20MOPTIE. 12 10 暗茶灰にて知るりを 5~10 10 10 10 30 %位退入。固結状である。 12.45 13 以20~14604間はスコリ 12.70m 30 15 3 10 アも 5~10%位含む。 1345 14 4 暗茶褐含水中、粘性弱い。 12 - 4 58.38 14.60 4.70 30 10 10 10 5.45州 时近去で、含水中 15.15 15 4 料地。 15.45 10 10 30 10 以深,含水少.粘性弱い, 16.10~16.80M 期に 美國 16.15 16 4 色的砂色建入。 अं/ 10 11 10 シルト温は細砂黄 新田砂は、固結している 16.46 56.18 16.80 2.20 17 粒子均一。 。疑及質で粘土分を不規則 77.45 10 30 10 10 に5%位温入. 18 7/2 含水中。密度中。 砂黄茶灰 54.28 18.70 1.90 长田 33 10 18.48 +9.15 19 火山及資料土を互層状 30 10 に 5~10cm 間に 挟む。 20 <u>5</u> 10 10 3/ 粒子均一。粘性中位。 含水中. <u>5</u> 5 山小混冶田石少乳茶 51.38 21.60 2.90 10 10 30 10 21.45 上部的マに細砂と 22 ा 灰 互層状に挟む。 *1*6 30 10 10 茶 72.45 風化礫 挾む. 23 暗 灰 20 23.35 色調不安定、含水ケない、 *50* 固結シルト 50 48.78 24.20 2.60 10 74.75 10 粒子均一。 含水中位, 細砂を不規則に混りる34 26 砂分多く、砂質シルト状 28.31 <u>50</u> 18 27 合水少量、排門に置い。 10 暗 *50* <u>50</u> 44.77 28.21

備 **;* :

29

30

試料採取方法の記号

● シンウォールサンプラー

フォイルサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

その他

J

調查名。調查地点(版林)金井中学校地質調查委託 72.985 調查年月日 58年 2月25日~58年 2月26日 ボーリング孔:No. GL-8.90 孔内水位 現 3.8 127 主大 H 試 試料採取 標 深 J: 色 di 10cm = 101 N 値 採取方法 質 打擊回数 竹 يز Š. 尺 鬜 厚 記号 30 cm 智人员 10 20 \mathbf{m} m 0 10 20 30 50 60 m 名 40 m m m 凝灰質中砂を不規則 にあるワール位選入。 **感植物少量含む。** 1 1 2 粉性弱い。含水少ない。 200mより中部, 条田田りを 145 5~10% 位混入。 215 30 2 若干しまっている。 30 10 10 10 215 含水少量、火山灰質。 3 松土質口一么状。 3.45 69.39 3.60 3.60 10 30 10 シルトを不規則に2~3 4.15 %位湿入。 10 3/ 10 シルト質微細砂状。 4.46 粒子均一。含水少ない。 5 5.15 粉性弱い。 10 10 30 10 5 45 6.60~7.70加間シュレト 10 10 6.45 30 さ 5~10%位 不規則に 遅入。 7.15 4 30 745 10 粘性弱心。 10 7.70 mより 糸田石りを不規 則に3~50位混入。 10 10 845 ∇ 若しまっている。 9 9.15 粘性弱い。 8.90m 30 10 10 10 粒子不均一。 10.15 10 5 8 乳黄 茶 含水少ない。 10 30 10.45 11 -10 30 10 11.45 火山灰質でシルトと少量 12.15 12 12.45 含む。 13.15 13 -70 10 浓度中位。 10 13.45 含水少ない。 14 -14.15 30 10 10 10 14.45 15. 15.15 34 15.50mより、含水中。 30 10 10 15.45 16.15 16 70 16.45 30 10 10 77.15 17 粒子均一。 30 10 10 10 1745 火山灰質で シルトを 不規 則に少量含む。 18.15 18 41 10 14 均質な砂、 10 10 10 18.45 30 密度中位。 19 19.15 10 30 19.45 10 10 10 20.15 70 20 砂黄茶灰 細 52.49 20.50 16.90 30 10 20.45 三儿湿油的黄茶灰河地通状に挟む。 21.15 8 12 51.59 21.40 0.90 10 30 21.45 硬く泥岩状である。 22.15 含水少ない。 黄茶灰 硬質シルト 30 22.45 10 10 細砂を互層状に5~10m 23.15 <u> 50</u> 16 朋技办。 18 10 23.33 固結シルト 砂分为(.含水少な 重結にないる。 非常に思である。今K少ない。 74.74 48.49 24.50 0.60 細形を互層状に3~5 <u>50</u> 25 朋校心。 24.50~25.30 m 開 磨植 25.21 6 物少量含む。 50 26 7 固結シルト 泥岩状である。 46.19 26.80 2.30 粒子均一、比較的均質。27.15 50 27 *42* 褐 砂。含水中。 27.26 10 27.40mより 緑青灰色と 78.15 緑青灰 28 50 50 44.76 28.23 1.43 なる. 極幅のはりである 78.73 78.73 8 29 30 考: 備 テニソン型サンプラー 試料採取方法の記号

フォイルサンプラー

その他

● シンウォールサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

調查名·調查地点(版林)金井中学校地質調查委託 調查年月日 58年 2月 22日~58年 2月23日 73.200 ボーリング孔:No. 孔内水位____ GL-13.10 14 力場 深 kill) 铱 淮 試料採取 標 深 16 J: 10cm ごとの 深 武 N 値 打緊回数 質記号 取 U 尺 111 14. 19 to 10 20 30 0 m Y, 10 20 30 40 50 60 法 mローム層の切土による 茶 褐 土 盛土。 72.40 0.80 0.80 全体に有機物のつい 4 10 1.45 ア混入。 200m时近过 火山砂 2.15 2 課(風化課の2~7%) 2.46 10 3/ を混る。 軽石湿りで、半固結化 79456 翘 69.40 3.80 3.00 している。 3.46 四亜角しちを流在。粘性 4.15 粉土質ローム茶 褐 68.75 4.45 0.65 1/ 強い。スコリア科切退入 20 10 30 4.45 粘土泥)《田石》 有キ物 要母片 混る. 30 10 10 5.45 6 10 全般に均一な細粒砂 6.45 10 30 10 でやや火山灰(風化)状 7.15 の砂層である。 745 30 10 10 8.15 要母片を 混る. 10 8.45 30 10 9.15 10 ややシルト性をおびてい 10 9.45 30 10.15 10 -10 10 10~11 时近の間は1045 30 10 11 -11.15 密度か 大となる。 24. 30 10 1145 12 -全般的に色調の濃淡 10 30 の変化もなく. ほぼ均質 12.45 13.15 13 <u>v.V.</u> である。 6 13.45 10 30 10 13.10 m 14 -14.15 10 10 10 30 1445 細 DIT 58.10 15.10 10.30 15.15 粒子均-。要母片混多 10 30 10 10 褐黄 15.45 いい記り細なり 粘性土を、挟み、混る。 16 28 所々、微砂質で、酸化 30 10 10 物要母片を混る。 +7.15 三小質細砂褐黄灰 55.90 17.30 1.45 30 10 10 10 17.45 均一な細粒砂からなり 18 要型片を 遅入。 410 細 54.53 18.67 1.37 18.45 10 30 10 全体に要母片・酸化物 湿、細砂皮薄、按小腐少15 21 Ó-25 植物といる状に挟む、1940 10 10 固結シルト 53.40 19.80 1.13 20 酸化物をレスジ大に挟在。20.15 均一細粒初。 10 10 沙儿混)細砂黄褐灰 30 10 0.45 21 21.15 要日片 酸化物と混る。 48 微砂 知初 色 河口 21.45 30 10 那混)固結以上黃褐原 に湿り挟む。 51.10 22.10 1.30 13 所の細砂をレンズ状及で2040 <u> 47</u> 5 25 10 10 ひ.薄層に挾在. 23 7 全般にシルトをおびて 2337 ZZ10 10 所でシルトの合有犬となる。 24.15 24 <u>50 35</u> 製出 酸化物混る. Z 12 10 23.85~26.23° 間 腐植 25.15 25 -物軽石混る。 25.34 10 25.30 m B付近、細むりを、 10cm位挟む。 46.97 26.23 4.13 灰 微細粒砂层 所识温》 按在 26.28 一固結シルト 46.40 26.80 0.57 -27.15 褐粉炒一。割外温入。 18 50 45.85 27.35 0.55 新田 10 10 27.35 20 28 29-30 備 . زخر デニソン型サンプラー 試料採取方法の記号

● シンウォールサンプラー

- 4

T フォイルサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

× そ の 他

72.980 調查名·調查地点(仮林)金井中学校地質:間直委言E 調查年月日 58年 2月 28日 - 58年 3月 1日 標 孔内水位 GL-8.40 ボーリング孔:No 3/2 ii. 绿 試料採取 深 10cm ご と ク 鱼 il. N 質 打擊回数 取 質 ä III. ानें 方法 # A ht 10 20 30 0 10 cm cm cm m 20 30 40 50 60 m \mathbf{m} Jil. m m ローム質土の盛土。 -1.59 44 27 27 18 15 全体的に軟かく逸水 248 \$3. 3.50 35 12 8 15 土茶 68.58 4.40 4.40 32 12 10 10 4.47 やや粘性強い。 スコリア・有機土を含む。 10 *545* 含火少ない。 10 10 647 32 褐 700m 时近より 火山 灰を混える。 32 10 10 747 $\overline{\Sigma}$ 32 10 11 847 900m附近にて15m 915 茶位火山灰を挟み全体 15、火山灰を多く含む。9.45 8.40m /3 30 5 10 -10.00m位 軟弱。 38 38 10.53 11.00mにて、スコリア 褐火山灰を含む。 0 - 4 61.38 11.60 7.20 33 14 10 1148 会水少なく 全体に 12.15 含水少なく 全体に 12.45 12 30 10 10 10 シルト及び、少量の雲 13-母を含む。 10 10 30 13.45 14 30 10 10 14.45 10 15.00m 位にて、シルトを 15 -15.15 *26* 30 多く含む。 10 10 15.45 16 -26 16.45 10 30 下部層に従がい、やや 17. 粉子荒い。 10 10 17.45 30 18-25 10 10 30 10 19.00mにて、シルト分 19 少なく、石が状の浮石 き.夢く抜む。 30 10 20 -4 10 10 30 21 21.00mにて、シルトを、 34 薄(挟む。 10 30 10 心儿湿烟砂 50.78 22.20 10.60 :: 粘性弱く含火少ない。2237 50.38 22.60 0.40 ----22 10 10 均質細砂にて幾分シ 23.15 にした。混之、少量の質 23.29 黄灰茶母を含む。 全体に石がほかいシルト。24.15 <u>50</u> 粘性弱(浮石 左混 25 える。 8 対であた.5~Zam位 26 挾む。 25.30m 31) \$9.40cm/\$\frac{26.26}{27.15} <u>76</u> <u>74</u> 10 4 28 29-30 備 考: デニソン型サンブラ 試料採取方法の記号 ● シンウォールサンプラー

フォイルサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

× そ の 他

72.950 調查年月日 58年 3月 1日~58年 3月 3日 調查名,調查地点(仮本)金井中学校地質調查委託 10 GL-7.15 ボーリング孔:No. 孔内水位____ 賏 祭 試料採取 铈 kuii 1 摊 標 深 色 10cm = 1 1: 深 N 取 質記号 打磐回数 質 Z 商 厘 10 20 30 0 10 20 30 40 m 50 60 m m m 法 洲 m 含水少ない。 上部やや粘性強い。 1 -30 18 12 全体にスコリア火山灰を 含む。 14 10 8 3.00m位より有機主スコリ 3 -ア火山灰を含む。 10 14 粘性弱い。 18 5 32 12 5.47 9 6.00m KT. 20cm 位 砂 6.15 状の火山灰を挟み、又全 6 8 6.48 体に多く含む。 200mにて、軟弱で粘性 弱~~ 13 10 9 7.47 7.15m 8.15 8 8.00 n BitILにて、ベター とした感じのローム。 30 21 8.45 粘性弱(軟弱. 63.65 9.30 9.30 口一人茶 9.45 10 -全体にシルトを 遅え 要母 10.15 10 10.45 き混入。 10 30 11 6 8 含水少ない。 12 70 10 13-4 粘性弱い。 10 10 三小混)細砂乳黄茶 59.05 13.90 4.60 全体に砂を混える。 3 含水少ない。 砂質シルト黄 58.05 14.90 1.00 15 10 10 30 舎水少ない。 16 -7/0 10 10 1700m 月打近、シルトを交 イグ15 17 み、かやシルト分多い。 17.45 10 30 10 10 18 5/0 1900mにて、全体にシルナタ.15 19 トを望え、裏母を混入る。1945 10 10 以上混り細*砂*黄 52.75 20.20 5.30 8 30 10 愛せき含む。 20.45 シル質細砂黄 茶一多水少ない。 51.75 21.20 1.00 50 <u> 74</u> 21.31 均質細砂。 22 <u> 33</u> シいと技み、幾分シい 12 10 22.27 を含む。 50 23 23.22 愛と含む。 50 50 茶島水少ない。 48.25 24.70 3.50 新日 日丁 庆 24 23 8 8 ~3. 49,15°(1シ)しト。 75.15 対で 2~15cm位をりを挟む、23.28 東母含む: 26.15 25 **←** 10 <u> 76</u> 10 <u>24</u> 4 27-28-29-30 -デニソン型サンプラー 考: 試料採取方法の記号

ס

フォイルサンプラー

その他

● シンウォールサンプラー

○ 貴入試験用サンプラー

調查名 · 調查地点 (仮称) 金井中学校 地質 調查 委託 72.980 調查年月日 58年 3月 5日~58年 3月 6日 11 孔内水位 GL-9.45 ボーリング孔:No. 試料採取 標 賏 #L 杂表 貫 標 深 10cm ごとの 色 深 áĽ N値 一質記号 取 打黎回数 質 呇 高 19 11 A M 10 20 30 0 10 20 30 cm cm cm cm 方法 50 60 m m 44 m 上部にやや粘性強く スコリア・火山灰を含む。 13 含水少ない。 14 2 /3 10 280m 5)30cm位火山红 7.46 き挟み 400 m位より粘性弱 3.15 3 9 ベターとした感じのローム ヘターとしただしいことです。 1.7. 少量の火山灰を含む。 4.48 15 /3 2-4 ૩૩ 68.18 4.80 4.80 全体的にシルトを含む。 30 10 10 6.00かにて、シルトを挟み 6 18 雲母を含む。 30 10 6.45 7.15 7.00mにて、全体にシル <u>17</u> 30 5 を含み、要母含む。 7.45 8 ~ 70 10 含水 少ない。 70 ∇ 9.45m 10 -10.45 10 10 11.00m 全体にシルと混 11 -10 之重验含む。 10 10 30 12-10 10 13 -5 8 <u>6</u> 10 30 14.00m にて、乳黄灰色になる。 12.15 14 -9 11 30 14.45 15.00mにてシルを挟み黄茶15.15 15 -10 10 30 15.45 16.00mにて、粒子粗く、有キ 5/0 シルト混り細か黄 土を含む。 56.48 16.50 11.70 10 30 16.45 5/0 17 20 6 30 18-27 30 10 10 19 -10 10 10 19.80m 位より、 固結状 19.45 30 20 のシル挟む。 50 39 10 20.26 心心質細砂 黄 21 - 51.88 21.10 4.60 12 21.27 10 多水少ない。 0— むり状の浮石を混え、もり、22.29 10 19 ぽい固結状シルト。 23 -*2*3. 3 / 棒状コーアにならず も3く 解体する。 z4.30 15 10 前で 細むすま 夢く挟み裏 25-47.63 25 29 4.19 | 国結シルト青 26 27-28 29-30 -考: 試料採取方法の記号

● シンウォールサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

フォイルサンプラー

その他

調查名‧調查地点 (仮林)金井中学校地質調查季託 72.971 調査年月日 58年 3月 6日-58年 3月 8日 12 ボーリング孔:No. 孔内水位 GL-12.50 솲 胃 試料採取 標 100 色 10cm ニ との 深 N 水取方法 11 27 個 質記号 打擊回数 復 さ 尺 riij. 19. 10 20 30 0 [#人量] m 10 30 40 50 60 \mathbf{m} 20 m 名 m 上部にてゆるいローム質土 の盛土。 1 1.58 43 24 19 逸水する。 自沈 300m位より、ややしまた。3/5 3 -<u> ২</u> ロームの盛土。 9 14 12 3 50 17 10 8 5 5.00mにて スコリア火山(大 褐きます。 16 茶 5.49 5.80mより 暗灰茶色にて 婚植物を捏え 100% 逸 15 8 11 22 粘性弱く、含水多い。 8.59 44 Z4 Z0 9 19 10 10 32 24 18 全体にゆるい、ローム湿りの 11 -黒ボコ。 自沈 12 土暗及茶 60.37 12.60 12.60 48 27 21 12.50 m ma 木の島植物を混え 13 1000/0池水する。 9 21 二次堆積口一ム。 <u>8</u> 暗灰茶 14 6 色調不同。 15 火山灰を混む、粘性弱い。 7 57.27 15.70 シルトを全体に混え 雲 16.15 16 4 黄 10 を含む。 16.45 17 含水少ない。 4 5 70 粘性弱い。 30 青 18 全体に要せを含む。 70 18.20mにて、黄茶色になる。 30 10 18.45 19.00加位より、シルか多い。 19 70 シルト混り、細砂黄 茶料性弱い。 5/0 20.00m 的近少比去技艺 20 5 6/0 なが混りシルト 20.45 細石かに幾分シルと含む 21 16 10 要母を含む。 77.00mにて、40cm位知的 22.15 シル·細砂互屬黄 50.57 22.40 1.90 22.22 石のほい固結状シルト. 暗青灰 23 浮石含む。 24 23.10mより黄茶色。 19 **॓** 23 24.20mより青灰色 25 - \sim 萬植物 浮石を含む。 <u>50</u> 5 27 -28-29-30 -デニソン型サンプラー 考: 试料採取与法件說等

● シンウォールサンプラー

貫入試験用サンプラー

フォイルサンプラー

その他

調查名。調查地点(版林)金井中学校地質調查委託 73.034 調査年月日 58年 3月 3日~58年 3月 6日 13 ボーリング孔:No. 孔内水位 GL-6.50 m 現 景 级 緑 135 質 試 驗 試料採取 標 深 色 10cm ご との 1. зiС 深 N可数 他 質 打撃间数 取 复 R 40 147 j(2) 3 記号 軍人最 10 20 m m m1/4 10 20 30 40 50 60 4/4 mm 法 粘土質ローム状である。 水分多い。 1 粘性中位。 34 34 149 スコリア少量含む。 2/5 土暗茶褐 <u>5</u> 33 70.53 2.50 248 10 73 凝灰質中砂を少量含む。 3 磨植物少量 混入。 348 33 20 /3 有機物含む。 30 10 10 表土 (黒ボケ) 黒 粘性弱い、含水少ない。 4.45 68.13 4.90 34 23 6 ______ 30 10 10 10 670~7.70mopt 650m 新田町 中田りを10~20% 10 30 10 10 位温入。 7.70~10.80m まで 凝灰 質中砂と不規則に.5% 30 10 20%位混入。 9 固結状で軽石を製出状に 10 少量含む。 10 31 9.46 10 含水少ない。 10 1080かより暗茶灰となり 暗 10 30 10.45 軽石を不規則に混入。 11. 粘性弱い。 30 14 8 11.45 8 12 30 10 10 10 12.45 13 8 30 10 12 14 12 14.46 褐 10 58.13 14.90 15 粘性中位。 3 30 10 10 疑反質粘土 色調不安定。 細砂を互層状に混入。 16 砂質シルト 料性中位、凝灰質でする 30 10 10 火山灰質粘土を.少量混 17 粒子均一,含水中位, 1790~1860加朋赤 30 10 色の、糸田石りを技む。 18 砂 暗 黄 灰 固結状である。 <u>6</u> 10 知 54.43 18.60 2.10 30 10 10 X田砂を互層状に3~5~ 19 挟む。 砂質シルト状で非常に室 10 10 固結シルト 含水中位。 53.13 19.90 50 25 10 均質な砂。含水中。 52.63 20.40 0.50 *z*3 10 細石りを互層状に3~5cm 20.38 21 挾む。砂分多い 50 固結により非常に堅い。 21.32 10 黄 201分多い、含水少ない。 05~10~~0の小しちきの きまた。均一なない。 等水中。 固結シルト 50 20 34 暗 黄 10 10 細砂を互層状にチャラ 23 30 聞に挟む。 23.30 15 10 5 初分多い。 24 砂質シェル状である。 14 24.29 10 郵石少量 混入。 47.73 25.30 2.70 一 固結シルト 暗 26-27 -28-29-30 -考: 試料採取方法の記号 デニソン型サンプラー

フォイルサンプラー

高 72.993 調查年月日 58 年 2 月 25日~58年 2 月 27日 調查名、調查地点(版林)金井中学校地質調查委託 14 孔 内 永 位 ____ GL-5.00 ボーリング孔:No. 现 3 金衣 試料採取 深 10cm = 5 0 色 į.1 (1...) 試 深 N和方 打緊回数 質 質 3 尺 E 础 The hat 10 20 30 0 10 40 50 60 m 20 30 法 m m調 比較的均質. 全体に中程度の硬度 10 がある。 浮石炭化物等混る。 10 10 30 10 4M 附近やや 軟質と 12 12 10 34 なり 含水多い。 6 5.40~5.50Mの間 持に軟質である。 5.00 m 30 10 12 褐 66.09 6.90 6.90 低度の固結状態を示す 30 10 10 10 局部的に非常に硬い 8 4 がかある。 ३/ 11 10 10 846 浮石混じる。 10 10 中矿極少量含む。 63.09 9.90 3.00 10 \3 3 30 均質. 11 粘性弱い。 10 彩石 炭化物等少量含む。 12 11.05~11.30州間,3石 32 10 5 層(難)と挟む。 12 - 4 59.54 13.45 3.55 9 30 18 ઙ 全体にシルを多量に含む。13.45 14 粒子均一。 9 11 30 15 1517时近より、やや均質。 シルと全体に含む。 10 10 30 16 -17.20~17.30M間 固結 47.15 17 10 シルを挟む。シルトの海骨(ルラcm)挟む。 10 18州附近り、粘土の季層以 18.15 18 10 シル質細砂黄 30 54.19 18.80 5.35 粒子均一。極密のほり。 14 20 16 中砂点在。 10 6 26 1941 全体の少量のシルト挟む。 聖いもので、棒状及び短 20.15 20 柱状コーアにて採取。 10 20.36 10 新田町の専層(中1cm位)を <u> 18</u> 32 固 結シルト 挟み 互層状を呈す 51.64 21.35 1.45 51.29 21.70 0.35 50 18 Q=10~15cm 10 23.55 M 时近少, 浮石 23.15 23 **张混3。** 48.66 24.33 2.63 <u> 23</u> 固結シルト暗 25 -26 -27-28-29-30 -考: デニソン型サンブラー 備 試料採取方法の記号

○ 貫入試験用サンプラー

フォイルサンプラー ● シンヴォールサンプラー

× そ の 他

質 告 土 柱 状 义 用 調查名·調查地点(仮林)金井中学校地質調查委託 72.961 調査年月日 58年 2月28日 - 58年 3月 1日 15 GL-3.10 ボーリング孔:No. 孔内水位 åĽ 余水 進 闘 試料採取 層 10cm ごとの £ħ, 深 1: ii. N値 、取方法 回数 質 打擊回数 質 厚. 哥 記号 20 30 o 買入量 10 m10 Źı m 831. 對質 160m 附近より粘 性弱い。又軟かくなる。-/./5 浮石炭化物等を混る。-/.45 1. 10 10 10 スコリア(赤橙色)を、温 2/5 10 10 /3 33 3.65m 附近より、所で 3 -固結している。 10 12 4.75m的1近より硬、3.49 ものとなり、全体に固結 7 10 34 程度が低い。 多孔質である。 5.85~7.25mの間 10 10 粘性弱い。 3/ 10 暗茶褐 2 32 10 黄茶褐900m附近少火山灰8.4 9 多く混る。 10 10 10.25~10.50m 朋 10-2 浮石層(黄色)を挟む。 14 6 以梁不均質にて局部大/./5 11 茶褐的に 浮石色 多く合 淡 /3 10 33 t. 2 10 10 30 やや硬質で、粘性あり。1245 13 59.66 13.30 0.80 暗 細石りを不規則に混入 粘土質シルト 上部、シルト及ひ粘土を1345 30 褐 多量に含む。 14 10 粒子均一. 30 15 4 全体に、シルト及び、 10 10 粘土を混り又薄く 4 4 シル質細砂淡黄灰灰灰(1~10cm) 30 細石りの準層を換む。 17 17.45 硬質シルト 淡黄灰 固結程度かい低い 粒子均一。密である。 全体にシルトを少量含む が田 10 10 *54.36 18.60 0.85* 30 粘性を有し, 軟質。 19 固結シルト 9.00~9.15m 細石丁挾む 粒子均一。細砂、少量 点在。密である。 18 暗黄灰 *20*.33 52.16 ZO.80 1.35 細 細石り(中10cm/程度)との 2/ 21 10 10 互層。 Z/.35 22 17 24 非常に硬質で、棒状 10 10 22.37 (短柱状) コーア (Marl= 23 17 15cm)になる。 全体に極少量の細砂混3、23.34 一固結シルト 50 15 10 25 -26-27 -28-29-

備 考:

30 -

試料採取方法の記号

シンウォールサンブラー

サンブラー ショフォイルサンブラー ・ ~~ ***

○ 貫入試験用サンプラー

× その他

デニソン型サンプラー

高 73.101 調查年月日 58年 2月25日 - 58年 2月27日 調查名·調查地点(反称)金井中学校地質調查安託 標 16 孔内水位 GL-6.80 m ボーリング孔:No. 規 32 九九 試料採取 4 主庆 標 採 色 10cm ごとの 米 Jr. N 値 取方 打擊间数 Ü 尺 110 βħ TI A W 10 20 30 0 10 20 30 40 cm cm cm cm 50 60 法 Jilli 15 腐植物 少量混る。 1 5 / 2 2 33 /0 /0 /3 所々 固結している。 3/ 10 2 2 黄茶褐 12 - 4 746 磨植物 浮石·火山灰少量 3.15 混る。 346 コアー状にて採取。 4.15 <u>14</u> <u>3</u> <u>5</u> <u>6</u> <u>30</u> <u>10</u> <u>10</u> 三 固結口-4 450~490M 間 鹿沼 4.45 土按心。 10 10 10 5 45 威植物 浮石少量混る。 3 / 2 暗茶褐岩干粘性合む。 646 磅植物火山灰少量混る。 2.15 31 若干含水多い。 6.80m 粉土質ローム 10 13 8 706 暗茶褐 萬植物火山灰少量混る。 8.15 6480 8 30 0.70 _/Z 30 3 4 5 中的少量混る。 8.45 三小混似的淡青黄 前、黄色细砂、 19 30 4 6 63.60 9.50 1.20 10-黄色细砂薄(按达。 70 30 粉土質細砂淡黄褐 10.45 所々棒状コアーで採取。 61.50 11.60 0.80 1/1/2 一时 質シルト 12 -中心、極く少量混る。 10 12.45 所々、粘土質細砂を 13 -30 3 4 13.45 14 -2 4 6 灰 15 70 16 -<u>5</u> 10 7/0 17 70 所々固結してる。 54.80 18.30 1.70 ---- 砂泥シルト 暗 青 灰 7/0/10 19 -微細砂少量混る。 20 -17 茶 新田 BY 52.50 20.60 2.30 *20.36* 21. 15 21. 32 21 所で、中石ケツ量遅る。 22 みにより、コアー状態にある。 23 細砂を 3量 不規則に 23.36 4890 24.20 3.60 --一 固結シルト 暗 50 <u>20</u> <u>30</u> 19 10 9 微細砂を極く少量混 26 -27 -28 29 30 考: 試料採取方法の記号 備 フォイルサンプラー U ● シンウォールサンプラー

質

土

柱

狀

図

用

紙

 $\frac{1}{\infty}$

その他

○ 貫入試験用サンプラー

73.050 調查名,調查地点(版新)金井中学校地質調查委託 調查年月日 58年 2月 27日~58年 3月 1日 17 ボーリング孔:No. 孔内水位 GL-8.80 祭 康 標 試 試料採取 深 標 10cm ことの t Æ ńι 深 N、取方法 打擊回数 型 尺 厚 2 哥 cm cm cm 0 10 20 30 m \mathbf{m} m 腐植物少量混る。 1 -10 mp 固結(て·る. 30 10 2 -浮石 火山灰 極少量混 10 10 10 3 . 3 4.7 12 10 32 10 4.15 6855 4.50 4.50 2 日 - 4 腊茶褐 447 12 10 10 5.15 上部腐植物少量混る。 5.45 30 10 10 10 67.15 5.90 1.40 粉混)細砂淡黄褐 6.45 30 10 7 -中砂少量混る。 30 745 10 10 全体に若干粘性含む. 845 9 9.15 5 8 8 8.80m 9.45 30 所包 固結細砂薄く 10-<u>5</u> 10 挾む。 11 -10 30 10 11.45 細奶醋黄褐 60.45 12.60 6.70 13.15 7/0 全体に粘性あり。 10 10 30 13.45 14 4 30 所で、黄色細砂挟む。 14 45 10 15-57.85 15.20 2.60 沁溜細砂 暗 黄褐 30 10 10 10 所で.固結シい技む。 15.45 16 -16.15 褐細砂不均一。 56.35 16.70 1.50 三小質細砂 茶 10 16.45 17 <u>35</u> 8 10 16 **前7. 固結粘土挟む。** 17.45 30 18.15 54.80 18.25 1.55 长田 砂黄茶褐 42 8 14 18.45 30 10 19 -10 15 21 46 シルト質細が黄 53.45 19.60 1.35% 19.45 30 10 10 固結細砂 暗黄灰 若 粘性制。 20.15 52.65 20.40 0.80 20.34 所々棒状コアーで採取。 52.25 20.80 0.40 _ -- 固結シルト 暗 21.15 黄色の細砂を薄く挟む。 О--- 10 10 中切りが量混る。 20.10~20.20M 固結細切 21.42 挟む。 22.15 27 50.85 22.20 1.40 新田 О 所又コア-状に採取。 中砂多量混る。 22.36 Z/固結シルト 50 10 如下黄色知识 互層状 23.43 28 24.15 50 17 28 5 21.36 21 10 10 1 に.夢く挟む。 \circ 47.73 25.32 2.42 褐 治知 砂条 26 -27-28-29-30 -備 考: デニソン型サンプラー

● シンウォールサンプラー

B 「フォイルサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー × そ の 他